

■主な保護リレーの種類と対応する試験装置

■保護リレー試験器

*1 基本 器具 番号	継電器形式名	試験要素 *2	電圧単相電流単相 保護リレー試験器	電圧三相 保護リレー試験器	電流二相 保護リレー試験器	電流三相 保護リレー試験器
			RX 4717	RX 4718	REX 4722	REX 4723
			V1 I1	V3	I2	I3
			掲載ページ P.9, 10, 21, 22	掲載ページ P.11, 21, 22	掲載ページ P.12, 21, 22	掲載ページ P.12, 21, 22
27	不足電圧継電器	V1またはV3	○ (V3の場合は 3台必要)	○	—	—
44	距離継電器	V1とI1	○	—	—	—
50	地絡/短絡選択継電器	V1とI1	○	—	—	—
51	過電流継電器	I1	○	—	○	○
59	過電圧継電器	V1またはV3	○ (V3の場合は 3台必要)	○	—	—
60	電圧平衡継電器	V2	○ (2台必要)	○	—	—
64	地絡過電圧継電器	V1またはV3	○ (V3の場合は 3台必要)	○	—	—
67	地絡方向継電器	V1とI1	○	—	—	—
87	比率差動継電器	I2	○ (2台必要)	—	○	○
90	電圧調整継電器	V3	○ (3台必要)	○	—	—
95	周波数継電器	V1またはV3	○ (V3の場合は 3台必要)	○	—	—

■自動リレー試験システム

*1 基本 器具 番号	継電器形式名	試験要素 *2	RX 8801	RX 8802 RX 8803*3	RX 8807	RX 8805	RX 8806	RX 8808	RX 8809	
			V4 I4	V3 I3	V3 I2	V1 I2 または V3	V1 I1 または I2	V4 I1	V4 I3	
			掲載ページ P.3, 4, 7, 8	掲載ページ P.7, 8	掲載ページ P.7, 8	掲載ページ P.7, 8	掲載ページ P.7, 8	掲載ページ P.7, 8	掲載ページ P.7, 8	掲載ページ P.7, 8
			27	不足電圧継電器	V1またはV3	○	○	○	○	○ (V3の場合 RX 4717 3台必要)
44	距離継電器	V1とI1	○	○	○	○	○	○		
50	地絡/短絡選択継電器	V1とI1	○	○	○	○	○	○		
51	過電流継電器	I1	○	○	○	○	○	○		
59	過電圧継電器	V1またはV3	○	○	○	○	○ (V3の場合 RX 4717 3台必要)	○	○	
60	電圧平衡継電器	V2	○	○	○	○	—	○	○	
64	地絡過電圧継電器	V1またはV3	○	○	○	○	○	○	○	
67	地絡方向継電器	V1とI1	○	○	○	○	○	○	○	
87	比率差動継電器	I2	○	○	○	○	—	○ (REX 4731 1台必要)	○	
90	電圧調整継電器	V3	○	○	○	○	—	○	○	
95	周波数継電器	V1またはV3	○	○	○	○	○ (V3の場合 RX 4717 3台必要)	○	○	

*1 保護リレーの基本器具番号は、日本電気工業会規格 (JEM) による規定です。

*2 Vは電圧、Iは電流、数字は相数を示しています。

*3 RX 8803は、RX 8802からREX 4741 (保護リレー試験コントローラ) を除いたシステムです。(P.7を参照)

※ 製品を使用される場合は、安全のため必ず接地してください。

※ 本カタログでは、上記表に記載された製品 (システム) 以外に、関連製品も掲載しております。(P.13~18を参照)

※ 海外仕様 (Wタイプ) の製品も用意しております。詳細についてはお問い合わせください。

※ 上記試験器・システム品に
従来機種 (REX 4707A / REX 4709A /
REX 4708A / REX 4710A) を組み合わせ
ることが可能ですが、一部制限があります。
詳細につきましては、当社 (営業) まで
お問い合わせください。

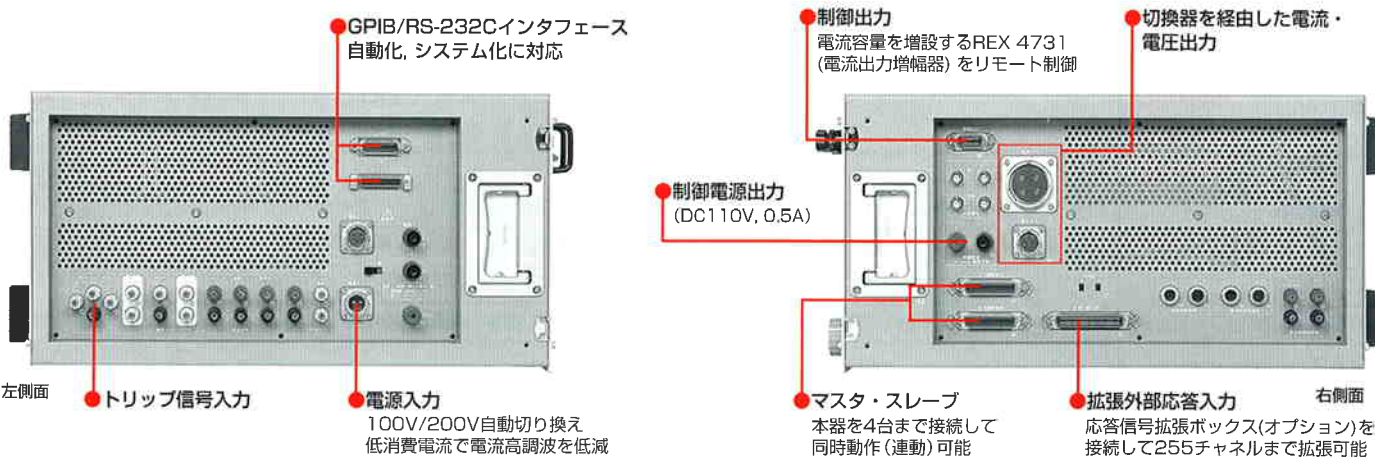
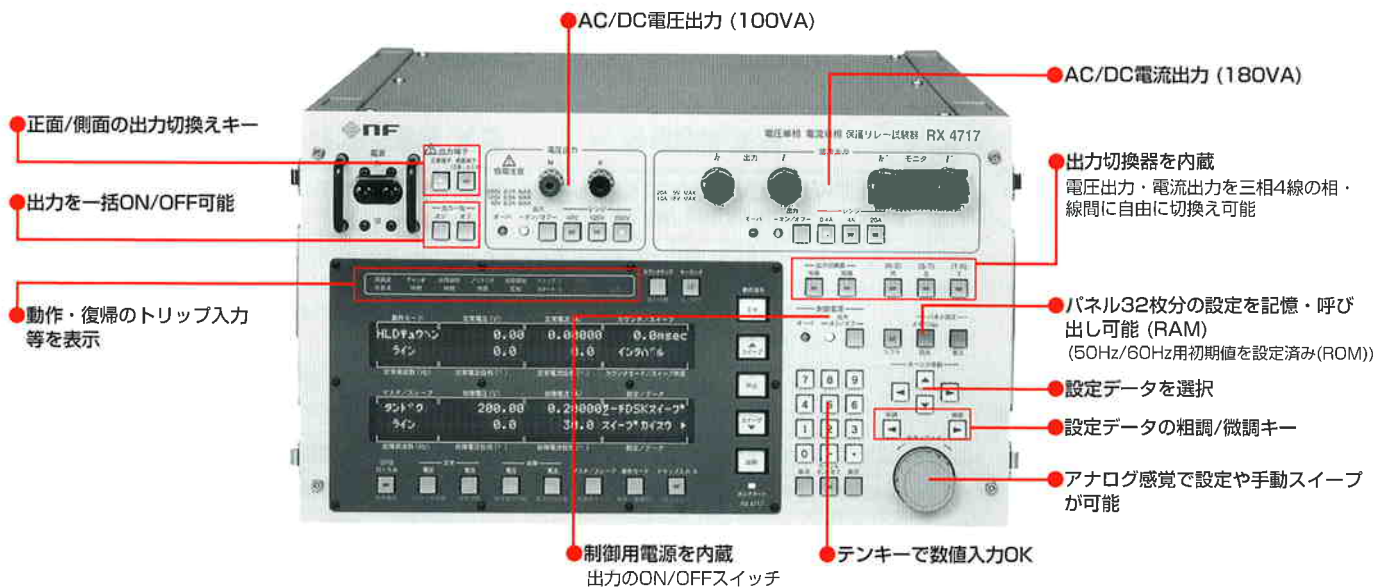
パワーアップ&機能アップで新登場！ 基本はそのままに「使い

電圧単相100VA、電流単相180VAを出力する無ひずみリレー試験器です。従来器に比べ*出力容量を約2倍アップし、さらに出力切換器やDC出力などを新装備しました。もちろん、従来からの機能はそのまま踏襲して、使い勝手も一層アップしました。様々な試験シーンで優れたコストパフォーマンスを発揮します。

*当社4707/4709, 4707A/4709A, REX 4707A/REX 4709Aと比較。

電圧単相電流単相保護リレー試験器 RX 4717

(海外仕様 RX 4717W)



■主な特長

●パワーアップ

電流出力はレンジを0.4A, 4A, 20Aにして、出力容量を180VA (20Aレンジ) に増強。電圧出力も出力容量を100VA (125Vレンジ) に増強するなど、従来器に比べ*パワーアップしました。

●DC出力モード

AC出力に加え、試験用DC出力も装備。電流出力は±0.2A, ±2A, ±10A、電圧出力は±40V, ±125V, ±250V。(極性は+または-を選択)

●振幅設定桁数を1桁増加

従来機種に比べ*、振幅設定桁数を1桁増加。電圧・電流の振幅をより細かいステップで変えることができます。

●SOR急変モード

脱調検出リレー (Step Out Relay) を試験するための出力急変モードを装備しています。滞留時間T₁: 10msec~9.999sec、T₂~4: 0および10msec~9.999sec。

●カウンタ機能

インタバル/ワンショット/トレイン/スタート計測の4モードに、チャタリング除去機能まで備えたタイムカウンタ (ミリセコ) を内蔵。動作モードでは、動作・復帰時間の同時計測が可能。また、「故障指令」を押す度にカウンタがクリアされる機能も装備しています。

- ・ [インタバル]
急変開始から最初のトリップ信号動作点までの時間を計測
- ・ [ワンショット]
最初のトリップ信号の動作幅の時間を計測
- ・ [トレイン]
トリップ信号の動作幅の累積時間を計測
- ・ [スタート計測] (カウンタの独立使用)
動作スタート入力からトリップ入力までの時間を計測

「やすさ」をさらに徹底追求。

●出力周波数

50Hz固定、60Hz固定、内部可変周波数(10Hz~200Hz)、外部同期、ライン同期から選択可能。

●組み合わせが自在

ほかに電圧三相 (RX 4718)、電流三相 (REX 4723)、電流二相 (REX 4722)、電流ブースタ (REX 4731) などを用意しています。試験内容に合わせて組み合わせや追加が自在に行えます。また、コントローラ (REX 4741) やパソコンを組み合わせれば単体試験、総合試験、自動試験が容易に行えます。

●互換性

TPR-33N形/TPR-303形や当社4705A/4706と組み合わせると同期運転・同時急変が可能。

●その他

- ・故障開始スイッチの動作はモーメンタリとオルタネート切換え可能。
- ・軽量 (19.5kg) ・コンパクト (幅430mm)

・出力波形は、正弦波、高調波1、高調波2、任意波および直流。(任意波はGPIB/RS-232C経由で書き込み)

- ・電流位相を設定されている値からダイレクトに180°反転可能。
- ・外部機器 (REX 4731、As-535) への発振器出力のみ係数を掛けた設定が可能。
- ・故障開始位相、プリトリガ時間、故障継続時間を設定可能。
- ・本器を増幅器として使用するための外部信号入力端子付き。
- ・電源OFF直前の設定を記憶。

*当社4707/4709、4707A/4709A、REX 4707A/REX 4709Aと比較。

※ 定格についてはP.21、22をご覧ください。

※ 海外向け仕様も用意しています。詳細についてはお問い合わせください。

ご注意：RX 4717を従来器のREX 4700シリーズと組み合わせると使用になる場合、20Aレンジの出力が制限されます。詳細については、お問い合わせください。(P.22の図を参照)

●スイープ機能…より正確・簡単に動作値・復帰値を計測。

・自動スイープ

周波数・振幅・位相の各パラメタについて定常値と故障値の間を自動スイープします。トリップ信号の変化でスイープを自動停止できますから、リレーの動作値/復帰値/最大感度位相の値を簡単に知ることができます。

・手動スイープ

定常値と故障値を設定すれば、その間をモディファイダイヤルにより手動でスイープすることができます。トリップ点近傍の詳細な確認に有効です。

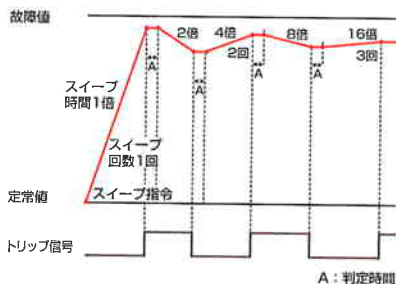
・95試験モード

デジタル周波数リレー(95リレー)専用の計測モードです。1回のスイープで動作周波数、動作時間、復帰周波数、復帰時間の4つの値を計測することができます。

最小動作値を自動的に計測

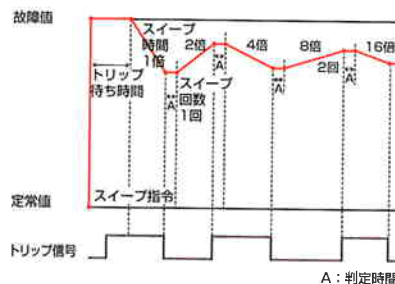
・サーチスイープモード

保護リレーの動作時間による計測値のずれをできるだけ小さくするため、定常値と故障値の間のスイープ速度を減速(時間を増加)しながら、繰り返しスイープを行い、より正確な動作値を計測します。



・ディスクサーチスイープモード

動作時間の長い円盤形保護リレーは、動作値や復帰値を計測するのが比較的困難です。その為、はじめに故障値に急変し、トリップ信号の動作を確かめた後、故障値から定常値へのスイープを繰り返して計測します。



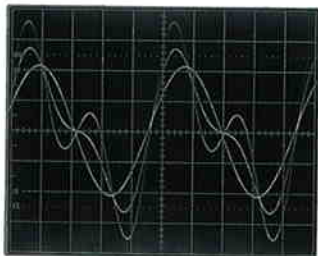
●高調波加算…保護リレーの高調波試験が本器1台でOK。

・最高25次の高調波を加算 (高調波1設定)

1次~25次までの任意次数の高調波を複数合成・加算できます。

・電流高調波の連続可変 (高調波2設定)

1次~25次までのいずれか1波の高調波を任意の含有率(0~100%)と位相で加算。しかも、連続的に可変できます。また、高調波を非同期に設定することも可能です。



●ダイレクト設定キー…素早く、確実なオペレーション。

頻繁に使用される設定項目を素早く・確実に設定できるようにダイレクト設定キーを採用。中でも、「定常」「故障」の電圧・電流・位相設定は、カーソルを指定した場所へダイレクトに移動させることができますので、試験条件の設定を素早く、確実に行うことができます。また、動作モードや周波数モード等の設定がより簡単にできるようになっていますので、リレー試験作業を効率よく行えます。

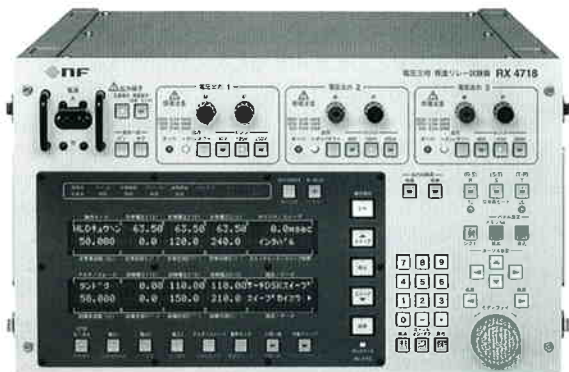


パワーアップ&機能アップで進化する電圧三相。

各相100VAの出力を可能にした電圧三相の無ひずみリレー試験器です。従来器に比べ*出力容量を2倍アップし、さらに出力切換器やDC出力などを新装備しました。もちろん、三相設定などの従来機能はそのまま踏襲。使い勝手も一層向上させ、様々な試験をよりスムーズに行えるようにしました。

電圧三相保護リレー試験器 RX 4718

(海外仕様 RX 4718W)



● 单相(短絡/地絡) / 三相(1L/2L)を切り換えて出力

右側面

■主な特長

- 出力容量は従来器に比べ*2倍アップ。125Vレンジで100VA/相を実現。
- AC出力に加えDCも出力。(出力時はどちらかを選択)
- 出力切換器を内蔵。单相(短絡/地絡)/三相(1L/2L)を切り換えて出力。
- 応答入力を255チャンネルまで拡張可能(オプション)。
- 従来機種に比べ*、振幅設定桁数を1桁増加。
- 脱調検出リレーを試験するためのSOR急変モードを装備。
- タイマカウンタを外部スタート信号で開始可能(カウンタの独立使用)
- 出力一括ON/OFFスイッチを正面パネルに追加。

- 正面端子/側面端子の出力切り換えスイッチを正面パネルに追加。
- 出力周波数は、50Hz固定、60Hz固定、内部可変周波数(10Hz~200Hz)、外部同期、ライン同期から選択可能。
- 自動スweep機能、パネル面設定メモリ、マスタスweep機能、高調波加算機能、GPIB、電源入力100V/200V自動切り換え...などを装備。

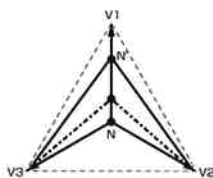
* 当社4708/4710, 4708A/4710A, REX 4708A/REX 4710Aと比較。
 ※ 機能説明についてはP.9~10をご参考になさってください。
 ※ 定格についてはP.21, 22をご覧ください。
 ※ 海外向け仕様も用意しています。詳細についてはお問い合わせください。

●三相設定...めんどろな関数計算が不要。

特許 第3257755号

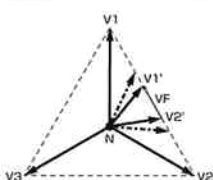
■1LG設定・スweep

- 抵抗接地系の1線地絡設定を零相電圧で入力すれば、各相の値(電圧・位相)を計算して自動設定します。
- 零相電圧の定常値と故障値を設定すれば、その間をモディファイダイヤルで手動スweepできます。
- 定常値と故障値の間を任意の速度で設定できる自動スweepでは、トリップ信号の変化でスweepを自動停止できますので、地絡過電圧リレー(64リレー)の動作(復帰)値などを簡単に知ることができます。



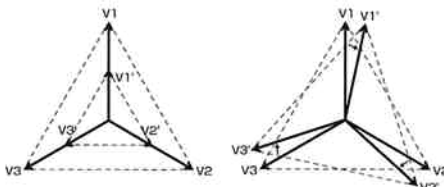
■2LS設定・スweep

- 2線短絡時の各相の振幅・位相を設定する場合、短絡相を選択し、故障線間電圧(VF)を入力すれば、各相の値(電圧・位相)を計算して自動設定します。
- 故障線間電圧の定常値と故障値を設定すれば、その間をモディファイダイヤルで手動スweepできます。
- 定常値と故障値の間を任意の速度で設定できる自動スweepでは、トリップ信号の変化でスweepを自動停止できますので、不足電圧(27リレー)や過電圧リレー(59リレー)の動作(復帰)値などを簡単に知ることができます。



■三相一括設定

三相の電圧値・位相を一括して同時に設定します。



■線間電圧演算

設定されている三相の相電圧・位相から線間電圧と零相電圧を演算して表示します。

■平衡三相設定

カーソルで指定されている電圧値で各相の振幅・位相を平衡三相で設定します。

■相切り換え

各相の振幅・位相を同時に隣の相に切り換えます。

RX 4717 / RX 4718 / REX 4722 / REX 4723 保護リレー試験器 定格

型名	RX 4717						RX 4718			REX 4722		
出力要素	電圧1要素			電流1要素			電圧3要素			電流2要素		
出力レンジ	定電圧出力単相			定電流出力単相			定電圧出力三相			定電流出力二相		定電流出力単相
	40V	125V	250V	0.4A	4A	20A	40V	125V	250V	4A	25A	50A
交流出力電圧範囲	0~40V	0~125V	0~250V	10Vmax	10Vmax	18Vmax*2	0~40V	0~125V	0~250V	18Vmax		
交流出力電流範囲	0.2Amax	0.8Amax*3	0.2Amax	0~0.4A	0~4A	0~20A	0.2Amax	0.8Amax*3	0.2Amax	0~4A	0~25A	0~50A
定格負荷*4	200Ω	156Ω	1250Ω	25Ω	2.5Ω	0.45Ω*5	200Ω	156Ω	1250Ω	0.72Ω		0.36Ω
出力容量	8VA	100VA	50VA	4VA	40VA	180VA*2	8VA	100VA	50VA	72VA	450VA	900VA
設定分解能	振幅	1mV	0.01V	0.01V	0.01mA	0.1mA	1mA	1mV	0.01V	0.01V	1mA	0.01A
	位相	0.1°										

*1 一相のみ20A、360VA、もう一相は10A、180VA。 *2 RX 4717の20Aレンジの出力電圧18Vmaxは、10A出力までとなります。(P.22の出力電流-出力電圧特性図を参照) *3 125V×0.8A=100VA (63.5V以下では電流が制限されます。)

*4 電圧出力定格負荷は最大電圧出力時の使用可能最小抵抗値、電流出力定格負荷は最大電流出力時の使用可能最大抵抗値。 *5 10A出力時は1.8Ωまで。

型名	RX 4717			RX 4718			REX 4722			REX 4723			
時間定格	連続												
許容負荷力率	0.7~1.0 (遅れ)												
振幅精度*6	フルスケールの±0.5%以内、±0.2%typ.									フルスケールの±0.5%以内、±0.3%typ.			
位相設定範囲	-359.9° ~ +359.9° (遅れ設定)												
位相精度*7	±0.3° 以内						±1° 以内			±0.5° 以内、±0.3° typ.			
ロードレギュレーション	振幅	±0.2%以内						±0.5%以内					
	位相	±0.2° 以内						±0.5° 以内					
ラインレギュレーション	振幅	±0.1%以内						±0.2%以内					
	位相	±0.1° 以内						±0.2° 以内					
ひずみ率*7	0.5%以内						1%以内						

*6 純抵抗定格負荷時。 *7 純抵抗定格負荷・定格出力時。

▼信号発生部

モード	50Hz固定、60Hz固定、内部可変、外部同期、ライン同期 (外部同期、ライン同期は周波数急変、周波数スイープ時は使用できません。)			
周波数範囲 (内部可変)	10.000Hz~200.000Hz 分解能 1mHz 精度 ±30ppm以内			
外部同期周波数範囲	45Hz~65Hz 同期セトリング時間 1sec以内			
出力波形	正弦波、高調波、直流、任意波 (任意波はGPIO、RS-232Cにてデータを設定。)		正弦波、高調波、任意波 (任意波はGPIO、RS-232Cにてデータを設定。)	
高調波モード	複数回加算 (高調波1設定) : 次数1~25次 振幅0~100% (分解能0.1%) 位相0~359° (分解能1°) 1波加算 (高調波2設定) : 次数1~25次のいずれか1波 電流出力のみ 振幅、位相連続可変、非同期設定可能	複数回加算 (高調波1設定) : 次数1~25次 振幅0~100% (分解能0.1%) 位相0~359° (分解能1°)	複数回加算 (高調波1設定) : 次数1~25次 振幅0~100% (分解能0.1%) 位相0~359° (分解能1°) 1波加算 (高調波2設定) : 次数1~25次のいずれか1波 電流出力のみ 振幅連続可変、非同期設定可能	複数回加算 (高調波1設定) : 次数1~25次 振幅0~100% (分解能0.1%) 位相0~359° (分解能1°) 1波加算 (高調波2設定) : 次数1~25次のいずれか1波 電流出力のみ 振幅、位相連続可変、非同期設定可能

▼動作モード

マニュアルモード	パネル面設定に従って自由に定常/故障状態を出力。周波数、出力振幅、位相、波形出力を制御		
急変モード	急変動作	ホールド、ノンホールドの2動作	
	急変要素	周波数、出力振幅、位相、波形	
	急変開始位相	0~359.9° (分解能0.1°)	
	フリトリガ時間	10~6000ms (分解能1ms)	
	故障継続時間	0.001~65.000s (強制「定常」復帰時間)	
チャタリング除去時間	1~100ms 1ms分解能およびOFF		
動作・復帰同時計測モード	一度の急変で動作時間と復帰時間を同時に計測 (カウンタ動作はインターバルのみ)		
スイープモード	周波数・振幅・位相について定常・故障の間を自動スイープし、トリップ信号でスイープを自動停止して保護リレーの動作値・復帰値を計測。 スイープ時間: 1.0~1000s (分解能0.1s) 手動 (モディファイダイヤル) によるスイープも可能		
サーチスイープモード	指定された回数スイープを繰り返し、動作値を計測		
ディスクサーチスイープモード	動作時間の遅い円盤形保護リレーを最初に動作させてからサーチスイープし、短時間でより正確な動作値を計測		
95試験モード	1スイープで、動作周波数、動作時間、復帰周波数、復帰時間を計測	—	—
SOR急変モード	脱調検出リレーを試験、ステップ1 (定常値)、ステップ2~4設定	—	脱調検出リレーを試験

▼タイムカウンタ

計測モード	保護リレーからのトリップ信号を接続することにより、保護リレーの動作時間 (動特性) を計測		
	インターバル、ワンショット、トレイン、スタート計測の4モード	インターバル、ワンショット、トレインの3モード	インターバル、ワンショット、トレイン、スタート計測の4モード
計測範囲	0~9999.9ms、10.000~99.999s、100.00s~999.99sの3レンジ 自動レンジ切換		
計測精度	± (0.01% + 1digit)		

▼外部入出力信号

外部増幅器用信号出力	1Vrms (各レンジ定格値設定時)
増幅器用外部信号入力	1Vrms (各レンジ定格出力)
動作スタート信号入力	電圧信号入力 (フローティング) : 範囲 0~+130V、スレッシュホールド電圧 +2.5V 接点信号入力 (フローティング) : 開放電圧 +5V、短絡電流 10mA
トリップ信号入力	電圧信号入力 (フローティング) : 範囲 0~+130V、スレッシュホールド電圧 +2.5V、+8V、+50V 接点信号入力 (フローティング) : 開放電圧 +5V、短絡電流 10mA
急変指令信号入力	範囲 0~+130V、スレッシュホールド電圧 +2.5V

REX 4723

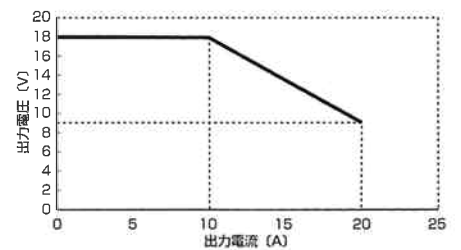
※製品説明についてはP.9~12をご覧ください。

電流3要素				
定電流出力三相			定電流出力二相 ^{*1}	定電流出力单相
0.4A	4A	10A	20A	30A
0~10V			0~18V	0~18V
0.4A	0~4A	0~10A	0~20A	0~30A
0.9Ω	2.5Ω	1.8Ω	0.9Ω	0.6Ω
40VA	40VA	180VA	360VA	540VA
1mA	1mA	0.01A	0.01A	

- RX 4717 電圧单相電流单相保護リレー試験器
- RX 4718 電圧三相保護リレー試験器
- REX 4722 電流二相保護リレー試験器
- REX 4723 電流三相保護リレー試験器

注意：●特に断りの無い場合、単位は実効値。
 ●上記定格は出力周波数が48Hz~62Hzのとき。
 ●上記定格は周囲温度0~+40℃のとき。
 ●出力電圧は電圧・電流各出力端子で規定。
 位相は各出力相対値で規定。
 ●急変・スリーブは電圧・電流出力とも同一レンジ内でのみ可能。

■RX 4717 電流出力-出力電圧特性



型名	RX 4717	RX 4718	REX 4722	REX 4723
----	---------	---------	----------	----------

▼外部入出力信号 (つづき)

急変指令遅延信号出力	TTL信号、0V~+5V、コモン側は筐体電位			
急変指令直接信号出力	TTL信号、0V~+5V、コモン側は筐体電位			
プリトリガ信号出力	TTL信号、電圧信号出力 0~+5V (コモン側は筐体電位)、および接点信号出力 (フローティング)			
周波数同期信号入力	範囲 -130V~+130V、スレッショルド電圧 +2.5V、コモン側は筐体電位		範囲 -30V~+30V、スレッショルド電圧 +2.5V、コモン側は筐体電位	
周波数同期信号出力	TTL信号、範囲 0~+5V、コモン側は筐体電位			
TPR用周波数同期信号入出力	京濱電測器社製TPR-33Nと接続して、TPR-33Nの出力周波数に本器が同期、本器の出力周波数にTPR-33Nが同期			
TPR用急変制御信号入出力	京濱電測器社製TPR-33Nと接続して、TPR-33Nの指令により本器が急変、本器の指令でTPR-33Nが急変			
外部応答入力	拡張応答入力ボックス(オプション)を接続することにより、トリップ入力を255チャンネルまで拡張	---	---	拡張応答入力ボックス(オプション)を接続することにより、トリップ入力を255チャンネルまで拡張
直流制御電源出力	保護リレーの制御電源用 直流電源出力 (110V, 0.5Amax)	---	---	---

▼三相操作機能

自動設定項目	---	三相一括、相切り換え、平衡三相、線間電圧演算、1LG, 2LS	---	三相一括、平衡三相
自動スリーブ	---	1LG, 2LS	---	---

▼出力切換器

機能	電圧出力、電流出力を三相の線間または各相に切り換え可能	单相電圧出力を線間/相間、三相電圧出力を1L(地絡)/2L(短絡)に切り換え可能	---	三相電流を線間/相間、1L(地絡)/2L(短絡)に切り換え可能
----	-----------------------------	--	-----	---------------------------------

▼マスタスリーブ

機能	本器を2~4台接続して多相化が可能 周波数・出力振幅・位相について急変・スリーブの同時動作をマスタ器の操作のみで可能			
----	---	--	--	--

▼その他

パネル面設定メモリ	パネル設定 32通り、コメント10文字			
任意波形出力	GPIB, RS-232Cでのデータ転送により12Bit×4096ワードの任意波形を作成 (電圧、電流、定常、故障 各々個別に設定可能)			
振幅係数設定	外部機器用発振器出力のみ係数を掛けた値を設定可能		出力にCT, PTなどを接続する場合、係数を掛けた値で設定可能	
振幅微調整	---		設定した振幅値を定常、故障別に0.00%~+2.55%まで、0.01%分解能で微調整可能	
インタフェース	GPIB, RS-232C標準装備 (同時使用は不可)			
電源	AC85V~115V/180V~250V 自動切換え 48Hz~62Hz			
消費電力	800VA (定格負荷時)		1.5kVA (定格負荷時)	1.0kVA (定格負荷時)
性能保証温度・湿度	0~+40℃、10~80%RH (結露なきこと)			
外形寸法 (mm) 突起物含まず	430(W)×249(H)×469(D)		430(W)×299(H)×469.5(D)	
	最大寸法 446(W)×264(H)×524(D)		448(W)×264(H)×524(D)	
質量	約19.5kg		約23kg	約24kg
付属品	正面カバー、電源ケーブル、電源渡りケーブル、電圧出力ケーブル、電流出力ケーブル、マスタ/スリーブ制御信号渡りケーブル、外部信号用ケーブル、100Vコンセント用3ピン-2ピン変換アダプタ、ケーブル用バッグ	正面カバー、電源ケーブル、電源渡りケーブル、電圧出力ケーブル、マスタ/スリーブ制御信号渡りケーブル、外部信号用ケーブル、100Vコンセント用3ピン-2ピン変換アダプタ、ケーブル用バッグ	正面カバー、電源ケーブル、電源渡りケーブル、電圧出力ケーブル、マスタ/スリーブ制御信号渡りケーブル、外部信号用ケーブル、100Vコンセント用3ピン-2ピン変換アダプタ、ケーブル用バッグ	正面カバー、電源ケーブル、電源渡りケーブル、電圧出力ケーブル、マスタ/スリーブ制御信号渡りケーブル、外部信号用ケーブル、100Vコンセント用3ピン-2ピン変換アダプタ、ケーブル用バッグ

型名	RX 4717			RX 4718		
----	---------	--	--	---------	--	--

▼直流出力

項目	定格電圧出力			定格電流出力			定格電圧出力		
	40V	125V	250V	0.4A	4A	20A	40V	125V	250V
直流出力電圧範囲 ^{*8}	±40V	±125V	±250V	±10Vmax	±10Vmax	±18Vmax	±40V	±125V	±250V
直流出力電流範囲 ^{*8}	±0.1Amax			±0.2A	±2A	±10A	±0.1Amax		
定格負荷 ^{*9}	400Ω	1250Ω	2500Ω	50Ω	5Ω	1.8Ω	400Ω	1250Ω	2500Ω
振幅精度	フルスケールの±1.0%以内、±0.5% typ. (純抵抗定格負荷時)						フルスケールの±1.0%以内、±0.5% typ. (純抵抗定格負荷時)		
設定分解能	0.01V	0.1V	0.1V	0.1mA	1mA	10mA	0.01V	0.1V	0.1V
ロードレギュレーション	±0.5%以内 (定格出力振幅・負荷変動100%時)								
ラインレギュレーション	±0.1%以内 (定格出力振幅・電源変動±10%時)								

^{*8} +/-出力はいずれかを設定。^{*9} 電圧出力定格負荷は最大電圧出力時の使用可能最小抵抗値、電流出力定格負荷は最大電流出力時の使用可能最大抵抗値。